

2016年6月4日(土)に産業能率大学で開催された第3回関東支部大会は110名以上の方々にご参加頂きました。グローバル人材育成に関心を持つ高校、大学教職員、企業関係者、将来グローバルな舞台で活躍を希望する高校生、大学生が参加して、今回のテーマである『グローバルな時代に輝く女性たち』にちなむ様々なプログラムを通して、グローバル人材育成について学び、意見交換を行いました。

午前中、開催校である産業能率大学の特別企画として平田譲二先生(産業能率大学グローバルマネジメント研究所所長、経営学部教授)による「ビジネス社会に貢献するグローバルマネジメントとは」と題するご講演がありました。これまでの経済の歴史概観から、日本の企業活動の特徴と企業のグローバル化について説明されて、それに基づいて、日本のグローバル化についてダイバーシティのマネジメントが今後必要であると提唱されました。

午前中は展示企業よりグローバル人材育成に関する様々な教材について説明の後、支部総会で締めくくりました。支部会では今回関東支部長として初めて支部会を開催する運びとなった斎藤の挨拶に続き、今回の支部大会の報告、今後の支部の方向性について報告させて頂きました。

午後から、新しく立ち上げた教育連携部会の企画である宮城政昭先生(東京学芸大学付属高等学校副校長)より、「SSHやSGH-Aの取り組みとグローバル化に対応した能力の育成」と題するお話がありました。SSHとしての東京学芸大学付属高等学校のタイ王国との生徒間相互交流、「生徒のやりたい」を実現するインカフェ空間の運営などの取り組みが紹介されました。最後に、実際にグローバル化の取り組みを体験している生徒からも報告がありました。また教員構成におけるダイバシティが生徒によい影響を与えていることも示唆されました。

また午後からは関東支部大会では初の試みとなる研究報告がありましたが、異文化体験プログラムや国際バカロレア教育を通じたグローバル教育、英語教育に関して、多岐に渡る発表が行われました。参加者の皆さんにとって大変参考になる多くの発表がありました。

一般発表に引き続き、浅場眞紀子氏(Q-Leap株式会社)、横川綾子先生(東京海洋大学)、湯村帆名氏(Human Right Watch 東京事務所)、白恵子氏(大和証券グローバル事業部)を迎えて「グローバルに輝く女性たち：グローバル人材育成の現在から未来への提言」と題するシンポジウムを行いました。大六野耕作先生(当学会副会長、明治大学副学長)の英語の司会で始まったシンポジウムでは、4人の登壇者がそれぞれ異なった経験からグロー

バルに活躍するために必要な力について英語で熱く語っていただきました。シンポジウムに参加した高校生、大学生も先輩女性からのメッセージに心動かされた様子でした。講演後の質疑応答でも多くの方から質問が寄せられ、女性の視点から語るグローバル人材育成に対する関心の高さを示していました。

本大会の締めくくりに、高大連携・接続企画の「高校生と大学生による協働型アクティブラーニング：グローバルに活躍する女性」と題する女子高校生と女子大生の混合チームによるプレゼンテーションが行われました。プレゼンテーションの本番前には、企業から斎藤智社長（桐原書店）、松村弘典社長（EnglishCentral）、森田繁雄氏（英会話イーオン）がメンターとなりプレゼンテーションのリハーサルを見て、アドバイスをしてくれました。本番では Rosa Parks、黒柳徹子、Misia, Alex Scott など各チームが事前に調査した女性について選んだ理由、自分たちに活かせる学びなどについて英語でプレゼンテーションを行いました。リハーサル後に提案されたアドバイスを活かして、短時間ながらより説得力のあるプレゼンテーションとなっていました。プレゼンテーション後の振り返りタイムでは、審査委員からのコメントを活かして、さらによりよいプレゼンテーションをできるようにしたいと語る学生を見て、グローバル人材育成学会の果たすべき一つの大きな役割が果たしていると実感しました。

大会後の情報交換会も引き続き大変多くの方々が参加して、グローバル人材育成について現状、未来を語り合う大変貴重な機会となりました。来年もさらにプログラムを充実させて、参加者にとって学びの多い関東支部大会となりますように努めていきます。最後になりましたが、ご登壇、発表、参加して下さった方々、展示をして下さった企業の方々へ心より御礼を申し上げます。

グローバル人材育成教育学会関東支部長 斎藤 裕紀恵（早稲田大学兼任講師）